

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2025 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2557
研究開発課題名	木材から得られるリグニンを利用した多彩でセキュアな顔料の開発
研究代表者	名古屋大学 大学院工学研究科 竹岡敬和
研究開発成果の概要	未利用資源である様々な植物から得られる木材分解リグニンから、独自の分画・抽出プロセスにより粒径の揃った単分散微粒子を安定調製する技術確立した。この微粒子生成のメカニズムを LaMer モデルで科学的に裏付け、原料の多様性に依存しない製造指針を得た。さらに、大手メーカーとの NDA 締結等を通じて、化粧品やインテリア市場における構造発色性材料の社会実装に向けた事業的実行可能性（FS）を実証した。

総合評価

天然由来成分だけで十分な「色」を出す素材のサンプルを作成し、基礎プロセス技術を明確化したことは高く評価する。今後は、ターゲット製品領域においての各メーカーの課題やニーズをとらえた上で、それを実現する実証検証、用途開発に期待する。

以上